

# 交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2017年5月26日

No.15

## 前年度の好成績は組合員の努力の結果だ！ 夏季手当を出せない理由はない！！

### ～2017年度 夏季手当第2回交渉報告～

中央本部は、本日10時30分より第2回交渉を行ない、会社から収入動向について説明を受けました。主な内容は以下の通りです。

#### 【鉄道事業部門】

1. 収入は4月の収入動向は、コンテナ収入は自動車部品輸送が好調に推移したほか、化学工業品・化学薬品が堅調に推移した。しかし、紙/パルプが印刷紙・コート紙の需要の落ち込みなどにより減送となった。
2. 車扱いについては灯油を中心に石油が好調となった一方で、セメント・石灰石が定期修繕などの影響により減送となり、車扱全体で対計画△99.8%となった。コンテナ及び車扱い合計は対計画101.1%、対前年102.3%となった。
3. 5月に入り、現時点での収入は計画を若干下回っているが、前年と同じ様な収入となっている。

#### 【関連事業部門】

1. 今年度は、鉄道事業で3.1億円、関連事業収入で0.9億円の収支改善目標が課せられているが新規貸付や、既存物件の賃料維持を行うと共に業務費・修繕費を的確に執行していく。

#### 【組合の主張】

1. 会社にとって期末手当は業績給という意味合いが強いが、18年連続ベアゼロの中で、組合員の賃金は物価上昇レベルに届かない。したがって夏季手当は極めて生活給である。
2. 前年度の決算において、目標であった鉄道事業部門の黒字化を達成することが出来た。また経常利益も88億円となり過去最高益ともいえる結果となった。また、現時点での収入動向においても前年度を上回る結果となっている。したがって出せない理由はない。
3. 職場では列車の遅れなどの異常時対応で組合員は必死になって頑張っている。また、前年度の結果から見ても期待が大きい。
4. 一時金として3万円が支給されたが、黒字の還元はこれで終わりというわけにはいかない。社長は野球大会の挨拶で「ボーナスに期待してください」と発言されたことで職場の期待度は上がっている。リップサービスで終わらせたら許さない。この間の組合員の努力に報いる誠意ある回答を示すこと。

#### 【会社の回答】

1. 貨物労組は今回の期末手当に期待をもっていることは理解する。引き続き誠意をもって交渉していく。
2. 新たに「中期経営計画2021」がスタートした。しかし、経費の増加が見込まれていることや景気も低迷している。
3. 収入については2カ月しか経過していないが、計画的にはほぼ順調に推移している。したがって今後の交渉で「組合要求の根拠」と「会社の考え方」が示される中で交渉を積み上げていきたい。

最後に中央本部は、会社は計画達成に責任を持ち、計画未達の責任を組合員の手当抑制にするのは断じて許さないことを突き付け交渉を終了しました。

以上

次回、第3回交渉は6月1日（木曜日）です。